

レーザー光量子分野の動向

- 計算機環境について
 - 大阪大学サイバーメディアセンター ハイブリッド型スーパーコンピュータ OCTOPUS が運用開始(12月1日～)
- レーザープラズマ科学のための最先端シミュレーションコードの共同開発・共用に関する研究会の開催 (2018年1月9-10日開催予定)
- シミュレーションコードの供用
 - 輻射流体コード、PICコードなど (阪大レーザー研共同研究:1月上旬締切)
- 阪大レーザー研で作成した講習会資料、計算機利用方法の資料のWeb公開

大阪大学レーザー科学研究所 長友英夫

- レーザープラズマ科学のための最先端シミュレーションコードの共同開発・共用に関する研究会の開催
(阪大レーザー研共同研究枠を利用)
 - 開催日:2018年1月9日(火)、10日(水) 2日間
 - 場所: 大阪大学レーザーエネルギー学研究センター 大会議室
 - 内容:レーザープラズマシミュレーションをキーワードに研究者が集い、様々な手法・対象について議論を行うことで、情報交換が行える場を設けることによって、レーザープラズマのシミュレーション研究の活性化を図ることを目的とする。具体的には、関連研究者の情報共有、共同開発、コード共用、共同研究を通じて、研究成果を上げることを目指す。
 - 幹事:城崎知至(広島大)
- 日米 JIFT workshop 「慣性核融合高エネルギー密度科学領域に関する理論・シミュレーション」
 - 2018年3月上旬, 広島市(予定)